

第15回 海ごみの調査 開催報告



開催日 2026年6月20日 (土)

1. 海ごみの調査

- ・6月14日回収@馬込川中田島側の海岸
- ・漂着ごみ：**7.25kg** (ごみ袋2袋)
- ・漂着ごみの分別作業と「ごみ調査・データカード」の調査対象45品目の個数を数えた。(破片は、直径2.5cm以上のものが対象)

回収量 合計693個

- 1位：硬質プラスチック破片 212個
- 2位：発砲スチロール破片 186個
- 3位：プラスチックシートや袋の破片 66個
- 4位：飲料用ボトルキャップ (プラスチック) 59個
- 5位：飲料用プラボトル (ペットボトル) 39個

【その他・特徴的なごみ】

- ・生活雑貨 (歯ブラシ・文房具) / ストロー・マドラー：各16個
- ・おもちゃ：10個
- ・荷造り用ストラップバンド：5個
- ・海・河川・湖沼由来品：発砲スチロール製フロート 27個、ロープ・ひも 7個



3. 参加者の声

意識の高い親子連れなどが参加し、海ごみの現状と私たちの暮らしのつながりを見つめ直す有意義な時間となりました。

・ごみの実態への驚きとショック

毎年大量のペットボトルが海へ流れ出ていることにショックの声があがりました。また、30年前と比較してもごみの状況がほとんど変わっていない現状に驚きの声がありました。

・新たな発見と知識の深まり

自分でごみ拾いをした際には見かけなかった「ルアー」や「マドラー」を発見する参加者もあり、ペットボトルが自然分解されないことなどを学び、環境への知識がさらに深まりました。

・具体的な対策の提案

「川の河口に柵 (スクリーン) を付けることを優先して欲しい」と具体的な改善案を提案するお子さんもあり、大人・子ども双方にとって環境問題を「自分の問題」として考える良い機会となりました。



2. 「私たちの生活と身近な海岸状況」のお話

◎ 講師：Hamaumi-浜松の海を守る会 清水浩利氏

- ・遠州灘の説明 ・沿岸部のごみ説明 (漂着ごみ・不法投棄)
- ・ごみの現状説明 (海ごみ・川ごみ・道路沿いのごみ)
- ・漂着ごみとは!? (ごみの種類・どこから来るのか?)
- ・漂着ごみモニタリング調査結果